

「愛媛県×東京藝術大学連携プロジェクト」本格始動!

これからのアートは

多種多様な「アートコミュニケーター」

東京藝術大学との連携事業

今年から、県と東京藝術大学の包括連携協定に基づく連携プロジェクトが始まります。これにより、とべもり+(プラス)エリアをはじめ、今治里山スタジアムなど県内各地がアートのフィールドに! 主体となるのは「アートコミュニケーター」。アートを介して人と人、人と地域をつなぐ市民の活動です。2012年から東京藝術大学と東京都美術館の取り組みを皮切りに、現在では全国各地に広がっています。アート作品だけではなく、県民一人ひとりの心のなかにアートを感ぜられる、多様な時代にふさわしいプロジェクトを展開します。

とべもり+を「アートの森」に

これまで、アートコミュニケーターが活動に必要な知識・経験を学ぶためのプログラムや、地域を巻き込みながら新たな「アートコミュニケイ」を創出する体制の構築に取り組んできました。そして今年からは、アートコミュニケーターがさまざまなアートプロジェクトに取り組みながら、とべもり+を拠点とした芸術祭の開催を目指します。県民みんなが一体となり、人と地域がアートを介してゆるやかにつながり合えるアートコミュニティに、あなたも参加しませんか。参加する、鑑賞する、楽しむあなたが「アート」なのです!

アートと地域をつなげる大切な役割を担ってほしいけん!



東京藝術大学 日比野克彦学長より、愛媛の皆さんへ



日比野克彦さん
岐阜市生まれ。東京藝術大学美術学部デザイン科卒。2022年4月1日学長就任。

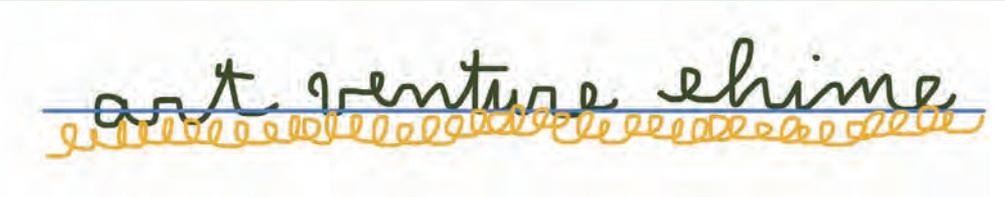
PROFILE

アートは冒険だ! まだ見ぬ先を見に行こう!
ひとりひとりの形の山がある。
ひとりひとりの流れの川や海がある。
となりの山にのぼってみよう。
麓の川で舟を作ってみよう。
その先に見えてきた海へ!
人と会えば世界は広がる。
アートが人を広げてくれる。
さあ! アートベンチャーに出かけよう!



プロジェクト名は「art venture ehime」

愛媛県版アートコミュニケーターの愛称は「ひめラー」に決定!



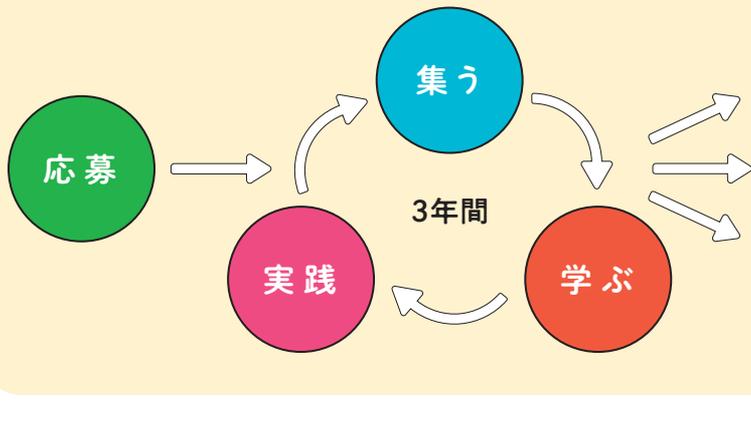
▲ロゴデザイン:日比野克彦

アートコミュニケーター「ひめラー」って何をするの?

プロジェクトの主体となる「ひめラー」は、「アートを介して誰もがフラットに参加できる対話の場をデザインし、さまざまな価値観を持つ多様な人や地域を結びつけるコミュニティの形成」に取り組めます。ひめラーとしての活動は3年間。座学を中心とした基礎講座とフィールドワークを行う実践講座

を通じアートコミュニケーターとしての基礎を学び、自主企画プログラム、芸術祭連携プログラムで主体的に活動を行います。卒業後は、プロジェクトの外へコミュニティの輪を広げ、県内各所で「アートで人々がつながっているまち」を創っていくことを期待します。

アートコミュニケーター「ひめラー」活動イメージ



3年間で培ったスキルやネットワークを活かしそれぞれの活動へ!

みんなの応募待ってるダーク!

TOPICS-1

応募しよう! アートコミュニケーター「ひめラー」

地域とアートのつなぎ手となるアートコミュニケーター「ひめラー」を募集します。

講座内容 基礎講座、実践講座、自主企画プログラム、芸術祭連携プログラム

選考方法 書類審査(A4/1枚小論文)、面接

応募期間 1月4日(木)~2月25日(日)

申込・問合せ 愛媛県アートコミュニケーター募集担当宛(株NINO内)

〒790-0042 愛媛県松山市保免中3-4-27

TEL 089-995-8783 / FAX 089-995-8784

詳細、応募フォームはコチラ!



TOPICS-2

参加しよう! 「art venture ehime」フォーラム

日時 令和6年2月5日(月)14:00~16:00 場所 県美術館講堂(松山市堀之内) 申込・問合せ TOPICS-1と同じ

1 キックオフフォーラム

14:00~15:00 (60分)
●テーマ「アートってえひめに効くかも!」 ●登壇者:伊藤達矢氏(東京藝術大学教授)、井口梓氏(愛媛大学社会共創学部准教授)、敷村一元氏(えひめこどももの城園長)、宮本祥恵氏(県障がい者アートサポートセンター障がい者アート推進幹)、二宮敏氏(art venture ehimeディレクター)/(株)NINO代表

2 スペシャルトークセッション

15:10~16:00 (50分)
●テーマ「アート×スポーツ×未来のえひめ」を語ろう!
●登壇者:知事、日比野克彦氏(東京藝術大学学長)、岡田武史氏((株)今治、夢スポーツ代表取締役会長)